

会 派 代 表 質 問 通 告 書

令和 7年 8月 26日

高島市議会議長 河越 安実治 様

会 派 名 市民クラブ すばる

高島市議会議員 8 番 高木 広和

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が2以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・質問番号1の用紙にだけご記入ください。
- ・質問が一つだけの場合は必然的に1となりますので、記入は不要です。

初問は { 1. 全項目一括質問一括答弁
2. 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号 2)	新しい政策とまちづくりについて
発 言 事 項	
要 旨 (項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。)	
	<p>合併特例債という有利な起債がなくなり、予算の組み立てに苦勞されたと推察する令和7年度予算とおもわれますが、こうした財政状況の中でも高島市の魅力を活かした、まちづくりを進めていかれることと思っております。</p> <p>高島市は京阪神と福井県をはじめ、北陸地方を結ぶ交通の要衝であると考えられます。市の面積の約7割を山林が占め、豊かな土地で農業も盛んにおこなわれているところです。また、安曇川、石田川など多くの河川から琵琶湖の水の約3分の1を占める水が市内を流れ、美しい琵琶湖の水となっており、豊かな水は湧き水、地下水として生活文化や産業に役立つ貴重な資源でもあります。また歴史においても貴重</p>

な財産が多くあり、市として誇り、さらに活かすことの出来ることであると考えます。こうした魅力が詰まった高島市がありますが、問題視されている、人口減少や少子高齢化、地球温暖化を背景とする地域経済や暮らしの変化といったことは、本市にとっても大きな課題と思われれます。こうした中で、市の将来を見据えたビジョンや政策づくりについて、市民・企業・大学・県や国など、あらゆる主体と連携し、新しい発想でまちづくりを進めていかれることは、市長の活動やお言葉から感じているところでございます。

市長が検討されている、まちづくりの構想・政策について、また高島市総合計画への反映も踏まえて現時点でのお考えをお伺いします。